

北上市立
鬼の館 だより

2015.3
第42号



「悪魔仮面」



「土偶」



「トリト」



「悪魔仮面」

特別展で故利根山光人コレクションの仮面を公開 平成27年4月25日～7月5日

展勝地の桜並木を臨む高台にアトリエを構え創作活動を行った画家・故利根山光人氏が収集した仮面を展示します。氏がメキシコで収集した仮面63点を平成9年から鬼の館でお借りしていましたが、平成25年に夫人のご厚意により鬼

の館に寄贈されました。動物仮面や悪魔仮面は鮮やかな色遣いと大胆な造形が特徴で、「太陽の画家」と呼ばれた氏の情熱との共通性が窺えます。また、利根山光人記念美術館が所蔵するメキシコ関連の絵画も併せて展示します。

鬼の館平成26年度下半期をふりかえって

企画展あの世

企画展「あの世」は9月6日から11月16日まで開催しました。本展では、人間の死を出発点とした死後の様相や現世との魂の交わりに視点を置き、「鬼」の成り立ちの一つである地獄や魂のあり方がどう考えられてきたのかをひもときながら、私たちと先祖、私たちと鬼についてご紹介しました。

当館収蔵資料の他、市内寺院のご協力により供養絵額、地獄絵、来迎図などを展示し多くのお客様にご覧いただきました。



市内寺院よりお借りした供養絵額

鬼学講座

今回で18回をむかえた鬼学講座は「語り伝えられる鬼」をテーマとし、全5回の講座を行いました。

伝説や芸能、祭礼に見られる鬼的存在に焦点を当て、「東北の貞任伝説」や「鬼の山車」など専門家による講演で鬼的存在の生まれた背景や伝承されてきた背景について考えました。また、県の無形民俗文化財の指定を受けている花巻市東和町の倉沢人形歌舞伎保存会による公演も行いました。詳しい内容は4ページの学芸ルームからご紹介します。



講師のお話に耳を傾けます

夏休みワークショップ

冬休みワークショップは12月23日・26日・1月15日の3日間行い「妖怪カレンダー」「鬼剣舞正月飾り」「鬼ッズチェアー」を作りました。

1月15日に行った「鬼ッズチェアー」作りでは、北上地区技能士会さんの指導により本格的な木製の椅子が作れると大人気でした。普段使うことのないカナヅチや電動ドライバーを前に、最初のうちは恐るおそるの子供たちでしたが、最後は完成品を手に笑顔で記念撮影をしました！



鬼ッズチェアーできたよ！

鬼っこわんぱく講座「鬼剣舞体験」

鬼っこわんぱく講座「鬼剣舞体験」は、5歳児から小学校6年まで14名のお友達が集まり、発表を含む全6回の講座を受講しました。中には小学校6年間休まず受講してくれたお友達の他、数年間連続で参加してくれたお友達、鬼剣舞を初めて習うお友達が、皆仲良く練習に取り組んでいました。当日は、風の吹く中での発表でしたが、寒さや風にも負けず元気よく力強い踊りを披露しました。発表が終わると保護者や観客から大きな拍手をもらいました。



来年も続けて参加してくれるといいな！

福豆鬼節分会

今年の「福豆鬼節分会」は2月1日に行いました。当日は、風が強かったものの晴れて"豆まき日和"でした。ステージでは芸能公演をはじめゲームや餅つきがあり、ゲームでは子どもから大人まで"特賞"目指して頑張っていました。その他「恵方巻き」や「餅ふるまい」は長蛇の列ができ、どちらも美味しく出来上がり来場者に振る舞われました。

今年から新たに地元の芸能団体2団体が加わり、内容も昨年より盛りだくさんで、最初から最後まで大人

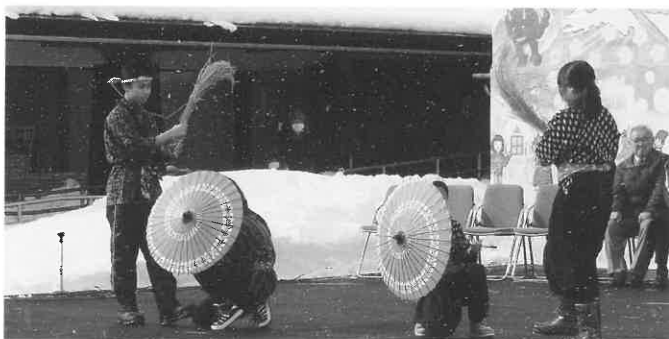
も子供も楽しく遊べた"節分"らしいイベントとなりました。



豆はいっぱい拾ったが〜！！



煤孫ひな子剣舞 かわいらしいなあ〜



新田百姓踊り 上手に踊れてるかなあ

市民開放展

市民開放展は12月13日から3月15日まで鬼の館企画展示室で開催しました。

市民開放展第1期は、同じ職場で働く三人がそれぞれの力作を展示した「冬の三人展」でした。小原隆規さんはガラスアートインストラクターの資格もお持ちで、写真立てやランプシェードなど色鮮やかな作品が並びました。学生時代から取り組んでいるという中嶋敏生さんと片方悠依さんはそれぞれ書と染織を展示しました。思わず足を止めて見入ってしまう力強い作品

ばかりで、会場は冬休みの家族連れを中心に賑わいました。

第2期は「駒込加奈子絵画展・足跡」。幼い頃から絵画を観たり描くことが好きで日常の生活の中で綺麗な、いいなと思えたものを表現している駒込さん。今回の作品展は今まで描いた作品の中から油絵、日本画、切り絵や日本画の材料などを展示しました。様々な手法で描かれた作品を、多くのお客様が熱心にご覧になっていました。



「冬の三人展」片方さんの作品



「駒込加奈子絵画展・足跡」

学芸ルームから

「倉沢人形歌舞伎公演」

主任学芸員 後藤美穂

鬼学講座の一環として平成26年12月14日、花巻市東和町で傳承されている倉沢人形歌舞伎保存会の公演を開催しました。同保存会を鬼の館にお招きするのは初めてですが、鬼の館初代館長の門屋光昭氏（故人）が調査に力を注いだ経緯や、発足のきっかけが北上市口内町でかつて傳承されていた水押人形歌舞伎であることなど、北上とも無縁ではありません。

倉沢人形歌舞伎は、明治27年（1894）に菅野常次郎氏が始められたものです。当日は、「三番叟」、「本朝廿四孝 十種香の場」「岩見重太郎 狒々退治」「景色」の4演目が披露されました。中でも「岩見重太郎 狒々退治」は武者修行の旅に出ている重太郎が、祭りの日だというのに何やら悲しげな様子の村に通る場面から始まります。聞けば祭りの日には神様に若い女性を人身御供として差し出さなければならないとのこと。重太郎は神様の正体が狒々であることを暴き、それを成敗するのです。狒々と言えば、年老いた猿の妖怪として知られていますが、演目では赤ら顔で髪をふり乱した化け物が見事退治される迫力ある場面が展開されました。

手先で人形を操り、人間の動きを再現するのはとても難しい技だと思いますが、倉沢人形歌舞伎保存会では人が演じる歌舞伎にも取り組んでいた経緯があることで、体の動きを知り尽くした人の繰る人形はまた違うのだそうです。

繊細な人形遣いの技術と迫力ある義太夫の語り口、華やかな舞台、そして幕間に見られる粋な遊び心など、長い間人々を楽しませることに真剣に向き合ってきたからこそその技が光っていました。また、当日は若手の傳承者の姿も見られ、これからの活躍にも期待が持てるようです。

残念ながらこの日は前が見えなくなるほどの吹雪で見学を断念された方もあるようですが、そのような中、舞台装置一式をトラックに積んで駆けつけてくださった倉沢人形歌舞伎保存会の皆さんには心より感謝申し上げます。



狒々退治の一場面

退任のご挨拶

北上市立鬼の館

館長 松田 訟盟



暖冬とはいえ、寒かった冬も終わりを告げ、鬼の館の桜はつぼみを膨らませ花開く準備をしています。

私儀、定年退職により3月31日をもちまして館長を退任することになりました。

あっという間の3年間でしたが、職員はもとより、地域、各種団体、関係機関の方々に支えられ務める

ことができました。心から感謝申し上げます。

就任1年目に入館者60万人、岩崎鬼剣舞享保伝授280年祭、3年目に開館20周年という節目にも立ち会えたことは大変喜ばしいことではありましたが、減少が続いていた入館者が、増加に転じたことは何よりうれしいことであります。

来年度は特別展「VIVA MEXICO～利根山光人の仮面」、企画展「岩手の妖怪大集合」のほか鬼剣舞や大乘神楽公演の充実、常設展示の一部入れ替えなどを予定いたしております。

今後とも、鬼の館にご支援を賜りますようお願い申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

鬼カフェ

● No. 4

いわさき学童保育所
高橋 文

学童の生徒さんに囲まれて

岩崎鬼剣舞が縁で札幌から嫁ぎ、庭元はじめ師匠・連中のご厚意で、笛を吹かせていただいでから早22年が経とうとしています。「(あんな踊りじゃ)はなすにならね!」と、お酒の勢いもあって熱くせまる師匠の言葉に、心の中は「??!!」とこれまた熱い思いが渦巻く連中。つくづく思います。学童の異年齢集団とそっくりだな〜と。「大目に見てやりなさいよ」「やめろ!」「いつも飽きっぽいのに今日はすごいね」「かわいい〜!」などと、時にはやさしく、時には厳しく(?!)見守ってくれる高学年。そんなお兄さんやお姉さんにあこがれて、色々な遊びに食らいついていくパワフルなおチビさんたち。サッカー・ドッチボール・探索・鬼ごっこ・将棋・竹馬・マンカラ・ごっ

こあそび・・・遊びは数えきれないほど生まれます。どちらもただ一つ"剣舞が好き" "あそびたい!" という事だけで結びつく幅の広い人間関係。色々な技を教えられます。盗みます。長く一緒にいると、人と折り合いをつけて生きていく術を知ります。後輩の視線に姿勢が正される先輩。心のよりどころになる仲間に励まされます。いたわりあいながら生きていくという事を覚えます。そして何よりも一緒にいることが心地いい!!

岩崎鬼剣舞に出会ったばかりの頃、踊りについてある師匠が言っていました。「1・2!」で合わなくても「3!」で合えばいい。「1・2」では精一杯自己主張させると。一人一人がしっかり自分を表現しながらもみんなの一つになる。お互いきちんと向かい合い、相手をしっかり見て、感じて、伝えていく剣舞。子どもたちは時にはケンカや言い合いをし、自分を主張しながらも友達と向き合う事で、様々な自分を知っていくのです。

どちらも、こんなふうに身を置く事ができる異年齢集団があるということは、幸せだな〜と、成長していく若者・小学生を見て思います。

平成27年度事業のお知らせ

特別展・企画展

4月25日～7月5日 特別展「VIVA MEXICO」
7月25日～11月3日 企画展「岩手の妖怪大集合」
11月21日～3月13日 特別展「市民開放事業」

鬼学講座

11月～12月(全5回)

鬼っこわんぱく講座

5月5日 こどもの日わくわくイベント
7月 わんぱく講座
1月～2月 鬼剣舞体験

鬼ッズ・プレイミュージアム

7月～8月 夏休みワークショップ
12月～1月 冬休みワークショップ
随時 張り子面づくり(鬼剣舞・カッパ)

逢魔が時ナイトミュージアム

8月5日・6日

第21回大乘神楽大会

6月14日

鬼の館芸能公演

4月～10月の第4日曜日の他

5月4日・6月7日・8月14日・10月4日・11月1日・12月6日・3月27日



福豆鬼節分会

1月31日

※イベントに関する日時等、詳しい内容はお問合わせください。

鬼の里だより

●企画展・特別展

<企画展> 「あの世」 9月6日～11月16日 3,660人

●鬼学講座

- 第1回 11月1日 企画展「あの世」学芸員ギャラリートーク
講師：当館学芸員 受講者 27人
- 第2回 11月8日 東北の貞任伝説（前編）
講師：阿部 幹男 受講者 31人
- 第3回 11月22日 東北の貞任伝説（後編）
講師：阿部 幹男 受講者 28人
- 第4回 12月14日 倉沢人形歌舞伎鑑賞
倉沢人形歌舞伎保存会 受講者 36人
- 第5回 12月20日 鬼の山車
講師：山屋 賢一 受講者 20人

●福豆鬼節分会

2月1日 入場者2,800人

- ### ●鬼ッズ・プレイミュージアム 10月1日～3月20日
- 和紙面づくり 参加者79人
出前講座2件 参加者40人

<冬休みワークショップ>

- 12月23日 妖怪カレンダーづくり 参加者18人
12月26日 鬼剣舞正月飾りづくり 参加者19人
1月15日 鬼ッズチェアづくり 参加者14人

●鬼っこわんぱく講座

鬼剣舞体験（全6回） 参加者14人
1月10日・17日・18日・25日・31日・2月1日

●芸能公演

- 10月5日 相去鬼剣舞 観客144人
10月26日 御免町鬼剣舞 観客241人
12月21日 北藤根鬼剣舞 観客74人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで。
なお、入館は午後4時30分まで。

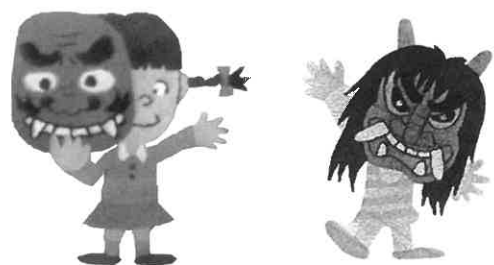
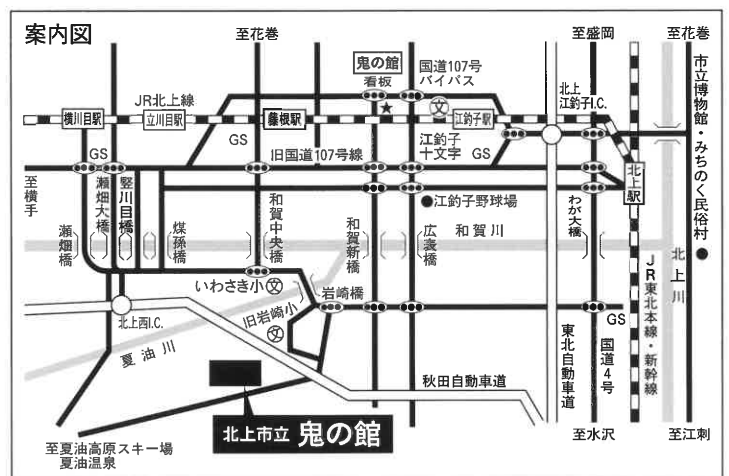
- 休館日**
- ・12月～3月の月曜日
 - ・12月～3月の国民の祝日の翌日（土・日・月曜日の場合は火曜日）
 - ・館内整理日（11月27日～11月30日）
 - ・年末年始（12月28日～1月4日）

入館料

一般	500円（400円）
高校生	240円（180円）
小中学生	170円（120円）

（ ）内は20人以上の団体料金。

- 交通利用**
- ・JR北上駅西口よりバスで25分。
煤孫経由横川目行、瀬美温泉行「岩崎橋」下車徒歩10分。
 - ・JR北上駅より車で20分。
 - ・東北自動車道「北上江釣子I.C.」、秋田自動車道「北上西I.C.」よりともに車で15分。



学芸ルームのかたすみで・・・

今年は例年に比べ雪の降りはじめが早かった割に積雪量は少なかったように感じます。エルニーニョの影響でしょうか・・・通勤距離が長い私にとって穏やかな冬でした。さて、27年度の鬼の館は芸能公演数が増え、更に忙しくなる予感。毎日を穏やかに過ごすことが出来るのか少し心配ですが、気持ちを切り替え新しい年度のスタートです。頑張ります！（明）

北上市立鬼の館だより

第42号 2015.3.25

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地
TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508